

2022年6月3日
国立大学法人東京大学

東京大学関連ベンチャー（2021年度） 累積創出数は478社になりました

国立大学法人東京大学（所在地：東京都文京区、総長：藤井 輝夫、以下「東京大学」）は、2021年9月に発表した基本方針「UTokyo Compass 多様性の海へ：対話が創造する未来」のもと、グローバルな展開を視野に入れたスタートアップエコシステムの創成を進め、「2030年までに累積700社を創出すること」を目指しています。

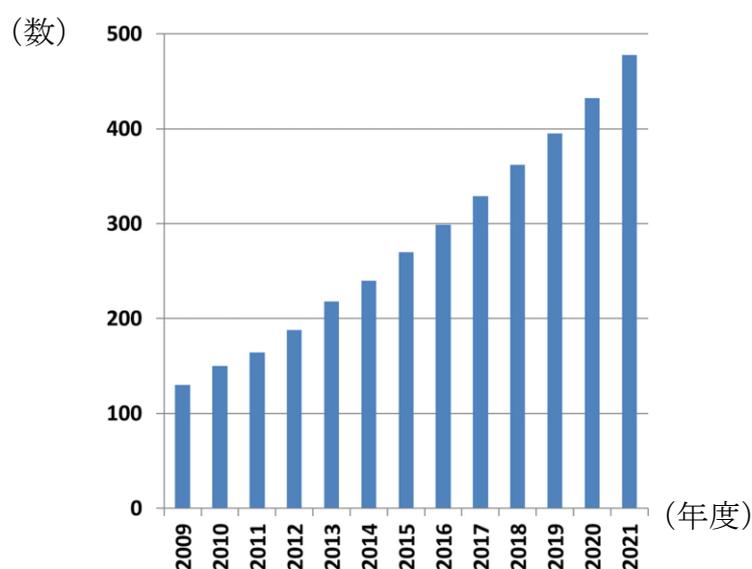
東京大学の調査によると、2021年度まで（～2022年3月末）に把握できた東京大学関連ベンチャーの累積創出数は478社であり、2020年度までに把握できた社数から40社増加しました。10年前と比較すると約300社近く創出されたこととなります。

近年は創出数の加速傾向が見られます（図参照）。また、2021年度はAI開発の株式会社JDSCをはじめ3社が上場し、上場会社は累計25社となりました。

東京大学関連ベンチャーの業種は、ICTとライフサイエンス/ヘルスケアのそれぞれが全体の約1/3を占め、残りの1/3はデバイス、素材、環境、エネルギーなどです。近年はディープテック系ベンチャーが多く創出されています。

東京大学では産学協創推進本部および投資事業を行う子会社、関連会社の活動を通じて、今後もベンチャー支援に注力してまいります。

【東京大学 産学推進協創本部 ウェブサイト】<https://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>



図：東京大学関連ベンチャー累積創出数推移

東大関連ベンチャーの定義

東京大学関連ベンチャーとは、「東京大学における教育研究に基づく技術やビジネス手法をもとにして新たに設立した企業」を指します。具体的には、下記の7つの区分のうち1つ以上に該当するものを指します。

- ・ 知財の移転
本学の教職員等または学生等による知財（特許だけでなくソフトウェア著作権も含む）を核にしたベンチャー
- ・ 知財以外の技術活用
知財の移転以外の、本学での研究成果または習得した技術に基づいたベンチャー
- ・ 人材移転
本学の教職員等または学生等がベンチャーの設立者となったり、その設立に深く関与したベンチャー。原則として本学に在籍中の起業に限る。
- ・ 関連VC出資
本学の投資子会社である東京大学協創プラットフォーム開発株式会社(略称:東大IPC)の投資先ベンチャー、および、株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズをはじめとする東大IPCのLP出資先VCの投資先ベンチャーのうち、本学との関係の深いもの
- ・ インキュベーション支援
本学の運営するインキュベーション施設を提供して本学が支援したベンチャー
- ・ 起業家教育
本学において起業家教育を受けた学生等によるベンチャー
- ・ その他
その他、本学が組織的に関係したベンチャー

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

国立大学法人 東京大学 産学協創推進本部

E-mail : info@ducr.u-tokyo.ac.jp